

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

科目名	ナンバリング	区分（必修・選択）	単位数	履修年次	開講学期等																		
英語 I		必修	1	1	前期																		
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー																				
和田 望	教員控室	kango	随時メールで質問等受付																				
授業の目的・概要	大学英語の入門として「使える英語」の修得を目指し、英語4技能（聞く、話す、読む、書く）を養い、英語の基礎学力と基本的なコミュニケーション能力の向上を図る。また、英語の学習に積極的に取り組む姿勢を養う。課題学習等を通して教科書の内容を理解し、その後の遠隔授業においてフィードバックを行い理解を深める。																						
授業形式・方法	<table border="0"> <tr> <td>□対面授業</td> <td>□講義</td> <td>□演習</td> <td>□PBL</td> <td>□反転授業</td> <td>□ディスカッション・ディベート</td> </tr> <tr> <td>☑遠隔授業(双方向型)</td> <td>☑実習</td> <td>□実技</td> <td>□グループワーク</td> <td>□プレゼンテーション</td> <td>□実習・フィールドワーク</td> </tr> <tr> <td>□遠隔授業(自主学習)</td> <td></td> <td></td> <td>□その他</td> <td></td> <td></td> </tr> </table>					□対面授業	□講義	□演習	□PBL	□反転授業	□ディスカッション・ディベート	☑遠隔授業(双方向型)	☑実習	□実技	□グループワーク	□プレゼンテーション	□実習・フィールドワーク	□遠隔授業(自主学習)			□その他		
□対面授業	□講義	□演習	□PBL	□反転授業	□ディスカッション・ディベート																		
☑遠隔授業(双方向型)	☑実習	□実技	□グループワーク	□プレゼンテーション	□実習・フィールドワーク																		
□遠隔授業(自主学習)			□その他																				
学習上の助言	この授業では予習・復習を必ず行い、発音練習やペア/グループワークに積極的に参加し、遠隔授業中にも積極的な姿勢で学習に取り組むこと。学習において不明・不安な点があれば遠隔授業中に質問を受け付ける。																						
教科書	Let's Learn English with Pop Hits! ポップスでスタート!基礎英語/著Teruhiko Kadoyama, Timothy F Hawthorne/成美堂/2020																						
参考書	特になし。																						
外部教材	特になし。																						
学生が達成すべき行動目標			関連卒業認定・学位授与方針																				
①	日常会話に必要な語彙を身につける。	HSU(5)、NS(2)																					
②	ネイティブスピーカーの英語を聞き取ることができる。	HSU(5)、NS(2)																					
③	英語を聞いて、自分の意志を英語で伝えることができる。	HSU(5)、NS(2)																					
④	学習した文法知識を用いて適切な英文を作成し、英文を読み解くことができる。	HSU(5)、NS(2)																					
⑤	発話・会話練習を通して相手に伝わる英語を表現できる。	HSU(5)、NS(2)																					
授 業 計 画																							
回	学習内容等	授業方法	学習課題・学習時間（時間）																				
1	ガイダンス：学習方法、課題について説明	同時双方向型授業	教科書の P3 と P118-123 を読む	1																			
2	Unit 1:Be 動詞について学習する。	同時双方向型授業		1																			
3	Unit 2:一般動詞（現在形）について学習する。	同時双方向型授業	【事前課題】 ① 単語・表現を調べる。	1																			
4	Unit 3:一般動詞（過去形）について学習する	同時双方向型授業	② Vocabulary Preview、Grammar Point、Let's Listen、Let's Listen Again、Grammar、Let's Read、Challenge Yourself、Let's Review の問題を解く。	1																			
5	Unit 4:進行形について学習する。	同時双方向型授業		1																			
6	Unit 5:未来表現について学習する。	同時双方向型授業		1																			
7	Unit 6:助動詞について学習する。	同時双方向型授業		1																			
8	Unit 7:受動態について学習する。	同時双方向型授業	③ 問題の解答をオンラインフォームから提出する。	1																			
9	Unit 8:現在完了形について学習する。	同時双方向型授業	<オンラインフォームに入力する前に、解答は必ず教科書やノートなどに書き込んでおくこと。>	1																			
10	Unit 9:比較について学習する。	同時双方向型授業		1																			
11	Unit 10:分詞について学習する。	同時双方向型授業	【復習】 ① 重要表現等をノートにまとめる。	1																			
12	Unit 11:不定詞について学習する。	同時双方向型授業	② Let's Read のパッケージジ、	1																			
13	Unit 12:関係詞について学習する。	同時双方向型授業	Let's Review の表現部分の音読練習をする。	1																			
14	Unit 13:接続詞・前置詞について学習する。	同時双方向型授業		1																			
15	Unit 14:動名詞について学習する。	同時双方向型授業		1																			
試	定期試験 達成度評価・評価のポイントを参照																						

【総合基礎科目領域/外国語科目群】

達成度評価							
総合評価割合（%）		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計
		30	30	10	0	30	100
総合力指標	知識・技術力	10	10	0	0	0	20
	思考・推論・創造する力	10	0	0	0	10	20
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	0	0
	発表・表現伝達する力	0	10	0	0	0	10
	コミュニケーション力	0	0	10	0	0	10
	取組みの姿勢・意欲	0	10	0	0	10	20
	問題を発見・解決する力	10	0	0	0	10	20
評価のポイント							
評価方法	行動目標	評価の実施方法及び注意点				フィードバックの方法	
試験	①	✓	定期試験を実施する。教科書で学習した語彙、文法項目、会話問題を元に問題を作成する。授業内で説明したことが試験内容の中心となるので、必ずノートを取って復習をすること。			試験の添削・返却。	
	②	✓					
	③	✓					
	④	✓					
	⑤						
レポート	①	✓	教科書で学習した文法知識を使い、英文を作成する。日常会話で使える単語を学習し、例文を作る。学期の半ばと最後の2回提出。			授業内でコメントする。	
	②						
	③						
	④	✓					
	⑤						
成果発表	①	✓	教科書で学習した英語表現を暗記し、発表する。棒読みではなく、リズム、イントネーション、発音に注意を払うこと。学期の最後に提出。			Teams 上でコメントする。	
	②						
	③						
	④						
	⑤	✓					
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
その他	①	✓	オンラインフォームに教科書の問題の解答を入力し提出する。オンライン採点の正解率に応じて評価するため、入力ミスがないよう注意を払うこと。毎週提出。 リンガポルタを使ってオンラインで英語学習をする。学習記録データの内容から評価する（取得スコア、学習時間）。毎週学習するユニットに合わせて継続的に学習すること。			授業内でコメント・解説する。	
	②						
	③						
	④						
	⑤						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の 実務 経験	担当教員は映画、海外ドラマ、ドキュメンタリー、リアリティ番組等の字幕制作を担当する映像翻訳者として3年以上の実務経験を有する。						
実践的 授業の 内容	映像翻訳者としてメディア作品に数多く触れる教員が、実生活で頻繁に使われる英語表現を紹介し、「使える」英語の修得を目指した講義を実施する。						
そ の 他	Teams を使った同時双方向型授業を行います。授業時は通信容量が無制限の WiFi 環境を推奨します。今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスが変更される可能性があります。言語はコミュニケーションのツールです。使わなければ意味がありません。日本にいると英語を使う機会があまり多くはありませんが、授業を「英語を使う貴重な機会」と捉えましょう。Teams 上で発音のペアワークもしますので積極的な姿勢で参加してください。毎回、授業の最後に授業内容の確認テストも行います。						